

みんなのしあわせが
私のしあわせに



2022 Annual Report

2022.4 - 2023.3

認定NPO法人 地球市民の会 | 2022年度 年次報告書



TERRA PEOPLE ASSOCIATION



誰も取り残さない社会へ。

緊急支援活動で「寄り添う」ことがテーマとなった一年

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、トンガ噴火緊急支援、ウクライナ避難民受け入れ支援など、新たな活動を展開してきました。戦争などで世界の分断が顕在化しつつある中で、取り残された人たちへ何とか手を差し伸べることができないかと、できる限りの活動を行っています。

ロシア侵攻後に発生したウクライナ避難民に対応するため、県・市・CSOが連携し、官民協働で受け入れを行ってきました。それぞれの得意分野を活かし、現在も受け入れを継続しています。また、避難民だけでなく、既に佐賀に住んでいる外国人が地域に根付き、安心して暮らせる仕組みづくりにも着手しています。

2022年1月に発生したトンガ噴火の際には、トンガにご縁がある会の関係者がいたため、寄付を集めてトンガ王国へ送りました。そして、2022年8月には、復興に向けた支援を協働で行うパートナーシップの覚書を、トンガ王国政府と締結しました。

2021年から取り組んでいる組織基盤強化も継続しています。2023年は設立40周年を迎えます。平場で対話ができる場づくりや、より多くの地球市民と一緒に活動を展開していくチャレンジサポートプロジェクトの制度づくりを行いました。

目次	3	2022年度トピック	16	2022年度 活動計算書・賃借対照表・監査報告
	4	2022年度 事業概要	17	中期方針報告
	5	スタッフ一覧	18	私たちについて
	6	事業紹介	19	ご支援について

NEWS 3 topics

2022年度は2021年度末に発生したトンガ噴火、ロシアのウクライナ侵攻により避難民受け入れ支援などを主とした活動でした。誰も取り残さない社会実現のため多くの他団体と連携した1年でもありました。



1 ウクライナ避難民受け入れ支援

2022年2月、突然起きたウクライナ侵攻。ウクライナのためにできることを模索する中、日本政府がウクライナ避難民の受け入れを表明。3月には佐賀県、佐賀市、CSOで官民連携の「SAGA Ukeire Network ～ウクライナひまわりプロジェクト～」を立ち上げました。当会は事務局を務め、2022年度には16組37人を佐賀県で受け入れました。全国に先駆けた官民連携の仕組みは「佐賀モデル」として注目されています。



2 トンガ大規模噴火災害支援

2022年1月に発生したトンガ大規模噴火災害に対し、佐賀県協力隊を育てる会と協力し支援金を贈呈しました。現地では国民の8割が被災。今後の復興支援に向け協力していくことを目的に、8月にはトンガ王国政府とMoUに署名をしました。11月に現地視察を実施し、いよいよ2023年度から奨学金事業を始めとする復興支援事業を開始します。



3 組織基盤強化

2022年度には、2025年までの3つの中期方針を定めました。全国にいる地球市民と繋がり、地球市民運動を広めていくため、「地球市民チャレンジサポートプロジェクト」を開始しています。こちらは、会と一緒に活動をしたい、連携したい方々の活動を会として応援していくものです。また、これまでのネットワーク強化のため、集まった方々と意見交換をするダイアログを全国で行っていきます。

「地球市民」とわたしたちの活動

他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人を「地球市民」と定義づけ、地域・日本・世界で活動する人材を育成しています。地球市民の会の関係者や支援者だけではなく、活動の場が異なっても同じ志で行動している人は「地球市民」であると考えています。多くの感動を集め、多くの仲間と分かち合う。与え合い、ともに学ぶ。わたしたちは地球市民の輪を広げ、新しい価値を生み出していくための活動をしています。

わたしたちのミッション

世界平和と地域社会の持続可能な向上・発展を実現するため、地球市民が活躍する場を作ること

事務局・スタッフ紹介

日本 | 本部事務局（佐賀）

佐賀県佐賀市にある本部事務局。国内事業をはじめ海外事業のコーディネート業務などを行っています。



岩永 清邦
事務局長



藤瀬 伸恵
事務局次長 /
ミャンマー事業担当



武富 有香
奨学金事業 /
国内事業担当



古泉 志保
国内事業担当 /
地域おこし協力隊



大熊 奨
ミャンマー事業担当



金子 公子
総務 / 会計担当

活動領域

世界とつながる機会をつくる

さまざまな形で世界とつながる機会を提供し、「地球市民」として行動できる人を増やします。地域や世界の課題を自分事として考えられる地球市民を育成しています。

今、つらい人に寄り添う

自然災害、紛争、政変などが日本や世界各地で発生しており、巻き込まれた方々はつらい状況に陥っています。今、支援を必要としている人に寄り添い、迅速で適切な支援を、他団体と連携しながら行っています。

地域を元気にする

国内・海外問わず、その地域に住む方が主体性を発揮し、いきいきとした地域社会を創造するサポートを行っています。セクターを超えて連携しながら地域の課題を解決し、持続可能な地域づくりを行います。

学ぶ機会をつくる

日本を含むアジアの脆弱な立場に置かれた人や子どもに対して、技術的・職業的スキルの習得や教育へアクセスできる機会を提供しています。将来の地球市民として、自分の地域の発展のために尽力できる人材を育成します。

2022年度の活動

活動領域	事業内容	実施場所	実施期間	紹介ページ
世界とつながる機会をつくる	SDGs 推進プログラム	日本	通年	6
	国際交流	日本・ミャンマー	通年	7
	子どもの居場所づくり	日本	通年	8
地域を元気にする	セーフティーネット構築事業	日本	通年	9
	ミャンマー農業支援	ミャンマー	通年	10
	ミャンマー開発	ミャンマー	通年	11
今、つらい人に寄り添う	ミャンマー環境保全	ミャンマー	通年	12
	避難希望者受け入れ	ウクライナ	通年	13
学ぶ機会をつくる	ミャンマー教育支援	ミャンマー	通年	14
	奨学金事業	ミャンマー・スリランカ	通年	14

日本 | 名古屋デスク

ミャンマー事業のコーディネート業務に加え、近隣へのファンドレイジングや講演活動を展開しています。



柴田 京子
ミャンマー国代表 / プロジェクトマネージャー

ミャンマー | ミャンマー事務所

ミャンマーで実施するプロジェクトを管理しています。



鈴木 亜香里
プロジェクト
アドミニストレーター



サイ・トゥン・エー



クン・ソー・ゾワ・マウン



コ・マンリン



マ・モー・モー・トゥエ

ミャンマー | ナウンカ村落開発センター

ミャンマーシャン州ナウンカにあり、循環型農業研修を実施しています。



クン・ソー・アウン
センター長



クン・シュエ・トー



クン・ティエ・レー

ミャンマー | タンボジ農業畜産研修センター

ミャンマーシャン州ニャウンシュエにあり、高校生に教育・農業・学ぶ機会を提供しています。



マ・ワー・ワー・ライン
センター長



ウ・ウィン・シュエ



ドー・キン・サン・ウ

ミャンマー | ライレンピー持続可能開発センター

ミャンマーチン州ライレンピーにあり、循環型農業やアグロフォレストリー農法の研修を実施しています。



ウ・ザベタン
センター長



ウ・ソー・リン



マ・グンテイ



マ・トゥライ・ゼ



ウ・ピエラ



世界とつながる機会をつくる | SDGs 推進プログラム

学校・大学・企業・CSO連携でSDGs先進県へ



topics

- 1 SDGsに取り組みたい、取り組んでいる企業・団体を中心にネットワークを設立。定期的な勉強会や情報交換会を実施。
- 2 夢の学校では毎月世界を知る講座「テラスクール」を実施。ウクライナ避難民との交流や、ミャンマーの教育支援クラウドファンディングに挑戦!
- 3 年間を通じて学校、企業、行政へ講演を実施。受講者は6,500人を超え、SDGsの理解・認知向上に貢献。

SDGs経営支援プログラムを、環境や教育系の県内企業に対して実施しました。また、SDGsを継続的に学び、相談し合える関係づくりを目指し、佐賀大学、佐賀市、リコージャパン佐賀支社、当会を中心とした佐賀SDGs推進ネットワークを設立しました。勉強会を4回実施する中で、SDGsに取り組み始める企業も現れました。また、未来のSDGsの担い手を育成するために、夢の学校の子どもたちに対して、様々な講座を実施しました。子どもたちは、自分たちでクラウドファンディングも実施。ただ学ぶだけではなく、支援につながる活動を行いました。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 企業2社、受講者(参加者) 6,545人
 支援者 | ふるさと納税 253人
 従事者 | 5人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

夢の学校 | 佐賀市 | 佐賀大学 | リコージャパン佐賀支社

参加者の声



田中陽菜さん

私は、テラスクールでミャンマーやウクライナなど自分が知らない国のことや、言葉や文化について知ることが楽しかったです。「今の生活が当たり前ではないんだ」と感じました。視野も広がり、自分でもSDGsについて調べて、行動したり、私の成長に繋がりました。



世界とつながる機会をつくる | 国際交流

オンラインや飲み物を通して、楽しく世界とつながろう!



topics

- 1 毎月1回、テーマを決めたミャンマーオンラインツアーを実施。ローカルスタッフが撮影する現地動画が大好評!
- 2 日本の学生とミャンマーの学生をオンラインでつなぎ、寄付やフードロスについて学ぶワークショップを実施。
- 3 世界のお茶やミャンマーコーヒーを楽しむイベントを開催! 飲み物で世界の文化を知り、生産者と消費者を繋げました。

情勢悪化の影響で、ミャンマーへ実際に行くスタディーツアーは開催できませんでしたが、オンラインを利用したスタディーツアーを毎月実施しました。毎回マニアックなテーマですが、根強いファンの方が何度も参加してくださっています。また、現地のタンボジセンターの高校生と日本の高校生が交流しながら学ぶワークショップも実施。寄付は全8回、フードロスは全3回で学びを深めました。地域の外国人とお互いに顔の見える関係性を、という趣旨で始めた世界のお茶会。全7回で、外国人講師に出身地の飲み物と、現地の文化や風景を紹介してもらいました。リピーターの方もいらっしや、質問やおしゃべりで顔と名前を知り合える会になりました。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 1078人
 支援者 | 6人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

JFRA | FUNN | 多文化共生等事業助成金(公益財団法人佐賀県国際交流協会)

参加者の声



内田早紀さん
 龍谷高校3年生

今回のワークショップでは、ミャンマーの学生との対話を通して、日本の食品ロスやご飯のありがたみについて考えました。自分のあたりまえは世界のあたりまえではなく、食品ロスを出さないために賞味期限に囚われすぎないように気をつけようと思いました。世界の食問題を自分の課題として向き合う貴重な経験になりました。



地域を元気にする | 子どもの居場所づくり

様々な連携を通じて子どもの居場所と地域をつなぐコーディネート



topics

- 1 佐賀市委託のもと、主に佐賀市内で活動する既存居場所への訪問やヒアリング、新規3団体の立ち上げ支援と運営フォローを実施。
- 2 一般家庭からの寄付食品を福祉団体へ配布するフードドライブ事業の継続と、新規支援企業の支援申し出の対応。
- 3 「食」でつながるネットワーク協議会の団体構成員として、研修会、運営会議に出席。他団体と食支援に関する連携を強化。

佐賀市委託のもと、当会が子どもの居場所づくりコーディネーター支援を始めて6年目になります。今年度は佐賀市で新規の居場所3団体が立ち上がり、相談から立ち上げ、運営のフォローを現在も継続して行っています。一方で、他団体や企業との連携も引き続き実施。昨年度からの日本郵便株式会社様や第一生命様と連携したフードドライブ推進事業はもとより、その他の企業からの支援申し出があった際は直接向いて説明や報告などを行い、支援について理解いただけるよう努めました。また、2022年10月には佐賀県内で幅広い分野に食支援が展開できるよう、『食』でつながるネットワーク協議会が立ち上がり、その構成員として運営にも携わっています。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 50人
 支援者 | 団体・個人 20件
 従事者 | 2人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀市 | 日本郵便株式会社 佐賀北部会 | 田島株式会社 | 第一生命 佐賀支社 佐賀東オフィス | 株式会社ミズマチ | 一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会 | 「食」でつながるネットワーク協議会 | 循環子どもの居場所づくり実行委員会

協力団体の声

内川 実佐子さん
 NPO法人
 空家・空地活用サポートSAGA



地球市民の会とは、さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会の立ち上げから共に頑張ってきました。今年度は当団体の居場所そらの開所式やイベント参加時のスタッフの一人として協力していただきました。フードドライブ食品も活用させていただいており、今後は一緒に企業の寄付集めなど推進していきたいと思っています。



地域を元気にする | セーフティネット構築事業

外国人に「選ばれる地域」を目指してネットワークで「お困りごと」解決



topics

- 1 九州でのネットワーク化に向け、外国人が抱える「お困りごと」について約50人が議論するワークショップを開催。佐賀県内20市町の多文化共生施策の状況についても調査し、ネットワークの必要性を提案。
- 2 かめのり多文化共生塾で、九州地区の多文化共生の裾野を拡大。3団体の助成金採択をサポート。
- 3 タイ・ランシット大学と佐賀女子短期大学の交換留学に向けた3者連携協定を締結。

外国人グループをつくることで、災害情報の多言語発信やお困りごとの解決に取り組んできた地球市民共生事業は、2022年度、「セーフティネット構築事業」として、九州の支援団体のネットワーク化を目指す事業へ展開しました。災害の激甚化や広域化、外国人住民の増加などが進む中、一つの自治体や団体・機関では「お困りごと」を解決するのが困難です。人口減が進み、地域の担い手が減少する中、「選ばれる地域」になるための下地づくりを続けました。また佐賀にさらなる留学生を呼び寄せるため、タイ・ランシット大学と佐賀女子短期大学の交換留学に向けた連携協定の「仲人」も務めました。外国人がくらしやすい環境作りに尽力した1年でした。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 7780人
 支援者 | 約50人
 従事者 | 2人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

公益財団法人かめのり財団 | 佐賀県県民協働課

支援者の声

西田 浩子さん
 公益財団法人かめのり財団
 理事・事務局長



「外国人住民の生活全般を支えるセーフティネット構築事業」への助成を契機に、「多文化共生塾」の佐賀開催、「外国人住民支援に係る多文化共生調査」へのご協力に感謝申し上げます。外国人に選ばれる地域を目指し、県境を越えた「北部九州の外国人住民を支援する機関・団体のネットワーク作り」の実現にエールを送ります。



地域を元気にする | ミャンマー農業支援

地域資源の活用やコーヒーなどの特産物で 地域を元気に！



topics

- 1 自分たちの地域を誇れるコーヒー産地にするために、生産量の安定を目指した栽培の実践や栽培技術研修を実施。国際的な有機認証の取得も実現。
- 2 自分たちの手でおいしいコーヒーを作りたい。加工場の建設と加工研修を実施。
- 3 知りたいこと、やりたいことは何でもやってみる。地域産業の可能性を探るPRRIE研修。

日本各地でも行われている地域活性化の取り組み。地域資源の可能性は無限大です。資源を有効活用するための人材育成やできるだけ多くの人に平等に参加の機会を提供するPRRIE(プリエ)という研修方法を用いて、地域資源で地域を元気にする活動を行っています。継続してコーヒー栽培を進めてきたチン州では、コーヒー農家グループを組織し、そのグループでアメリカの有機認証を取得しました。オーガニックコーヒーとして付加価値をつけて販売することが可能になりました。コーヒー加工場の建設も進み、来年からは大きな機械を使った加工が可能になります。

参加者の声

ナン・メインさん
PRRIE・漬物作り
研修参加者



私には2歳の子供がいるので、世話をしなければなりません。今回の研修で、家で仕事をするための技術を学びました。高菜や大根などを漬物にして保存する方法を学び、野菜が不足する夏季に備えることができるようになりました。今後野菜がたくさんとれる季節にたくさん作ります。私たち女性にも仕事ができてうれしいです。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
受益対象者 | 2,685人
支援者 | 3団体、65人
従事者 | 10人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

外務省 | トヨタ自動車株式会社 |
独立行政法人 環境再生保全機構 | コーヒーアンバサダー



地域を元気にする | ミャンマー開発

村のみんなが住みやすい環境へ



topics

- 1 山岳地域の村で、水源から集落まで配水。水だけでなく、常時水が使える「安心」をお届け。
- 2 現地スタッフ主導のゴミゼロ村プロジェクトは次の段階へ！
- 3 村落で維持管理のための仕組みづくりも実施。基金を徴収し、給水施設の修繕やゴミ収集継続などへの対策も万全。

ミャンマーでは、雨が全く降らない乾季から暑季にかけての約半年間は水の確保が本当に困難になります。しかし、水源から集落までの配水や集落に水タンクを整備することで年間を通して安心して水を使えるようになりました。村からは「今年はどの家庭も水を汲みに行かなくともとても近い場所まで行くことができ、本当に喜んでます。今は遠くまで水汲みに行かなくても水浴びや苗作りにも水を使うことができます。」という言葉が寄せられました。また、住環境の改善と環境保全を兼ねた現地スタッフ主導のゴミプロジェクトは高く評価され、今後3年間の継続事業としてパワーアップして実施していく予定です。

受益者の声

ウ・タラームンさん
ピンティヤ村長



私たちの村は地形の関係上、水を得るのはとても大変です。以前、自助努力で水パイプを配管しましたが、雨季である6月から乾季に入った後の1月までしか水が足りず、2月から5月の4か月間は家族の飲み水を確保するがやっとでした。今は十分な水を得ることができ、飲み水、生活用水の他に苗作りにも使用することができるようになりました。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
受益対象者 | 524人
従事者 | 7人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

公益財団法人 ゆうちょ財団



地域を元気にする | ミャンマー環境保全

持続可能な生活を創る。
農業・畜産や環境保全で地域を豊かに



topics

- 1 環境破壊が進むシャン族の地域で16,500本の植林を実施。農業×畜産×森づくりで収入源を増やしながら、環境保全も実践。
- 2 安定した農業収入を目指し、気候変動に左右されない農業生産環境の整備を。
- 3 インレー湖の環境保全事業はしめくり。かまど配布、植林、ゴミ回収システムづくりなど、包括的なアプローチで取り組む。

森林の減少、気候変動、ゴミ問題など生活を取り巻く様々な問題がある中で、持続可能な生活はどうしたら成り立つのか？ということを常に考えながら活動をしています。厳しい状況が続くミャンマーでは、収入向上と環境保全の両立を考えて事業を進めなければなりません。森を活用したアグロフォレストリーや農業と畜産を組み合わせ、動物糞を畑に還元するなどの取り組みを行っています。また、安定した農業生産のための農業用水整備も行っています。これにより、安定した稲作が可能になり、農家の収入が向上する見込みです。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 2,944人
 従事者 | 7人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

外務省 | 積水ハウスマッチングプログラムの会 |
 公益財団法人 国土緑化推進機構 |
 公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

担当者の声



サイ・トゥン・エー

今、ミャンマーは経済的に厳しく、環境保全活動だけの実施は困難です。しかし、森を活用した「アグロフォレストリー(AF)」には多くの住民が関心を持っています。活動地域では、森を切り開き、大規模な飼料用トウモロコシ栽培をしていましたが、AFを実践する人たちが増えてきました。環境保全と地域活性の両立を目指します。



今、つらい人に寄り添う | 避難希望者受け入れ

官民連携ネットワークをコーディネートし、
37人のウクライナ人を受け入れ



topics

- 1 官民連携でウクライナ避難民を受け入れる「SAGA Ukeire Network ～ウクライナひまわりプロジェクト～」の事務局として、「佐賀モデル」を確立。
- 2 2022年度は16組37人のウクライナからの避難希望者を佐賀県に受け入れ。
- 3 避難民当事者をインターンとして雇用し、交流イベントの開催など、ウクライナ避難民と地域住民が交流できる場づくりを促進。

国際協力や多文化共生に携わるNGOとして、ウクライナ侵攻から目を背けていいのか、という思いから、佐賀県や佐賀市、NPOによる官民連携の「SAGA Ukeire Network」を同年3月9日に設立。日本に身寄りのない方でも、応募フォームの公開とオンライン面談によって状況を聞き取り、より緊急性の高い16組37人を佐賀で迎えることができました。入国後に佐賀でいかに暮らしてもらうかも重要です。これまでのノウハウを生かし、交流イベントなどを開くことで、ウクライナ避難民が地域住民とつながり、地域住民の一人として受け入れられる環境づくりを続けてきました。

実施概要

実施期間 | 2022.4 - 2023.3
 受益対象者 | 避難民 16組37人
 支援者 | 約300人
 従事者 | 3人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

公益財団法人 日本財団 | 一般財団法人 ゆうちょ財団 |
 Shapiro Foundation | Fish Foundation |
 朝日テクノ株式会社

受益者の声



ラブレんティエヴァ・ナタリアさん

佐賀では、周りの方々がオープンマインドで接してくれるので、ここでの暮らしを居心地よく感じています。私たちのために日本の方々、特に佐賀の方々がしてくださったことに、本当に感謝の気持ちを十分に言い表せません。心からArigato Gozaimasu。



学ぶ機会をつくる | ミャンマー教育支援

困難な状況にあるミャンマーでも、学びを止めない！



topics

- 1 ミャンマーの子ども達に学ぶ幸せを届けるクラウドファンディングを実施。本や文房具をお届け。
- 2 ミャンマーに学校を1校建設。支援者さんの想いのつまった校舎が完成！
- 3 タンボジセンターの子ども達に、さとおやさんが毎月2回オンライン日本語教室を実施。自己紹介や歌をマスター。

コロナ以降、2年間学びが止まっていたミャンマー。2022年からは学校に通う子どもが増えています。しかし、一部の地域ではまだ学校に通えない子どももいます。また、経済状況の悪化に伴い、本や文房具を購入できない家庭も増えています。そこで、13人の支援者さんにもご協力いただき、教育支援のためのクラウドファンディングを実施。約380万円を集めることができました。また、一昨年に学校建設のための寄付を集めながらも、情勢悪化で建設をストップしていましたが、無事に建設を進めることができました。オンラインを活用して、月に2回の日本語教室も実施。できることからコツコツと、子どもたちの学びを支えました。

実施概要

実施期間 | 2021.4 - 2022.3
 受益対象者 | 871人
 従事者 | 16人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

ミャンマーの子ども達へ学ぶ幸せを届けようサポートファンディング |
 ミャンマーに学校を建てようクラウドファンディング

受益者の声

ドー・タン・タン・ウーさん
 ルエカウン準中学校校長



村が本当に必要としていた新校舎を寄付してくださり、ありがとうございます。先生も、学校委員会も、親も生徒たちも、今までにないくらい大変喜んでいて。寄付者の皆さまのますますのご発展をお祈りしています。



学ぶ機会をつくる | 奨学金事業

奨学金を通じて国を越えた心の交流を



topics

- 1 安定的に教育を受けるのが難しい子のためにミニライブラリー事業を立ち上げ。有志メンバーで実行委員会を組織し事業の運営を行った。
- 2 ミャンマーの学校再開に伴い、2年間留年状態だった子どもたちの支援を再開。3年ぶりにさとごプロフィールを送付。
- 3 スリランカの支援先サンガミッタ女子高校と初のオンライン交流会を実施。校長先生や子どもたちとさとおやさんが触れ合える試みを。

2020年から2年間、コロナと政変による影響で子どもたちは学校へ行けずにはいましたが、今年度から通学再開しました。状況の変化によりさとごの在籍状況も大きく変わったため、新規入寮者を迎える、単年度支援方式に変更する等で柔軟に対応しました。また、現在も勉強が困難な状況にある子どもも多く、奨学金以外の教育支援も開始。ミニライブラリー事業をはじめ、避難民の子を対象とした教育緊急支援や、チン州のCome Schoolに対する奨学金支給を実施しました。また、スリランカの招へい事業が中断されている現状を打破するため、初の現地とのオンライン交流会を開催。学校等の協力のおかげで、楽しく実施できました。

実施概要

実施期間 | 2021.4 - 2022.3
 受益対象者 | ミャンマーのさとご 74人
 スリランカのさとご 40人
 支援者 | さとおや会員 団体・個人 152件
 従事者 | 4人

支援者の声

花泉 雅徳さん



さとごに寄付として支援させていただいています。この取り組みでさとごの皆さんが自分の知らない事柄や場所や人などに興味を持ち関わるきっかけになれば、と個人的には考えています。そしてこの事業でミャンマーの若者と日本の若者の縁がつながり、互いの国の未来を手助けできるような関係性につながって欲しいと思います。

2022年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告書

活動計算書

(単位:円 | 税込)
自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

経常収益	
【受取会費】	2,536,000
【受取寄付金】	
受取本部寄付金	2,083,547
受取国内寄付金	36,557,200
受取奨学金寄付金	6,945,627
受取ミャンマー寄付金	6,260,127
【受取寄付金】合計	51,846,501
【受取助成金等】	
受取国内助成金	14,733,951
受取ミャンマー助成金	71,644,292
【受取助成金】合計	86,378,243
【事業収益】	
国内委託金収益	10,656,016
ミャンマー委託金収益	1,082,030
国内事業収益	2,037,998
ミャンマー事業収益	95,380
【事業収益】合計	13,871,424
【その他収益】	1,508,651
経常収益 合計	156,140,819

経常費用	
【事業費】	
人件費	26,358,164
その他経費	84,048,498
【事業費】合計	110,406,662
【管理費】	
人件費	8,157,930
その他経費	2,771,495
【管理費】合計	10,929,425
経常費用 合計	121,336,087
当期経常増減額	34,804,732
【経常外収益】	10,111,746
【経常外費用】	11,517,107
税引前当期正味財産増減額	33,399,371
法人税、住民税及び事業税	81,000
当期正味財産増減額	33,318,371
前期繰越正味財産額	147,608,826
次期繰越正味財産額	180,927,197

貸借対照表

(単位:円 | 税込) 2023年3月31日現在

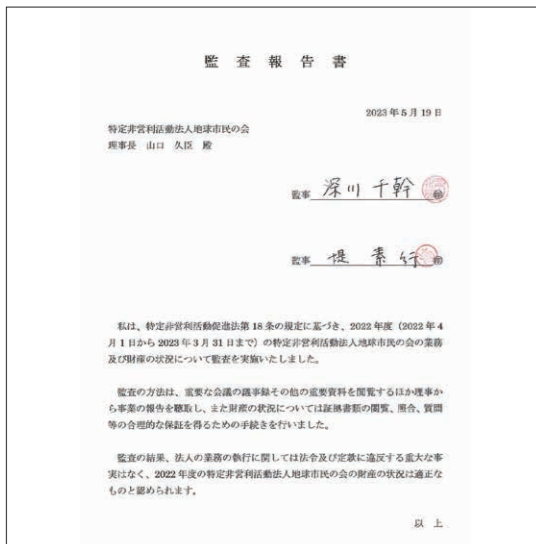
資産の部			負債・正味財産の部		
科目	金額		科目	金額	
【流動資産】			【流動負債】		
(現金・預金)			未払金	15,315,733	7,142,141
現金	175,800	116,523	前受金	1,063,000	1,012,000
普通預金	148,126,492	150,692,499	預り金	543,652	3,997,314
現金・預金計	148,302,292	150,809,022	仮受金	0	0
(売上債権)			流動負債計	16,922,385	12,151,455
未収金	1,506,740	9,836,884	負債合計	16,922,385	12,151,455
売上債権計	1,506,740	9,836,884			
(棚卸資産)					
棚卸資産	17,072	300			
貯蔵品	188,000	162,000			
棚卸資産計	205,072	162,300			
(その他流動資産)					
立替金	0	100,000			
預け金	1,000,000	19,966,556			
ミャンマー未使用資金	11,517,107	10,111,746			
流動資産合計	162,531,211	190,986,508			
【固定資産】					
(投資その他の資産)					
什器備品		92,144			
出資金	2,000,000	2,000,000			
固定資産合計	2,000,000	2,092,144			
資産合計	164,531,211	193,078,652	負債・正味財産合計	164,531,211	193,078,652

財産目録

(単位:円 | 税込) 2023年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	150,809,022	未払金	7,142,141
手許現金	116,523	前受金	1,012,000
普通預金	150,692,499	預り金	3,997,314
未収金	9,836,884		
棚卸資産	300		
貯蔵品	162,000		
立替金	100,000		
預け金	19,966,556		
ミャンマー未使用資金	10,111,746		
流動資産合計	190,986,508	流動負債合計	12,151,455
2. 固定資産			
什器備品	92,144		
出資金	2,000,000	負債合計	12,151,455
固定資産合計	2,092,144	正味財産	180,927,197
資産合計	193,078,652	負債及び正味財産合計	193,078,652

監査報告書



NPO 法人国際協力 NGO センターより
2015年にASC2012の認証を受けました。



非営利組織評価センターより
2019年に佐賀県で初めて非営利組織の信頼性を表すグッドガバナンス認証を受けました。

2022▶2025

多くの地球市民が活躍する社会に向けて

地球市民の会のミッションに基づき、2021年度に3カ年方針を策定しました。2022年度に実行したこと、目標に向けた今後の取り組みです。

1 社会/地域の課題や困難にチャレンジし活躍の場を広げ、「地球市民」を増やしていく



2022年度 地球市民の会と関わった人数 **14,221**人
2025年度までの目標 **40,000**人

2022年度 | 取り組み

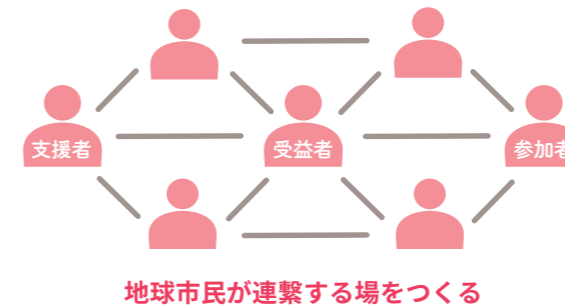
- ・ウクライナ避難民受け入れ支援
- ・トンガ噴火災害復興支援
- ・ミャンマー復興支援
- ・ミャンマー教育支援サポートファンディング

2023年度 | 取り組み

- ・ミャンマーコーヒー事業の農業ビジネス化
- ・地球市民ネットワークの全国拡大

※受益者、支援者含む

2 日本中・世界中に点在する「地球市民」と繋がり、地球市民運動がさらに活性化・発展する



2022年度 地球市民と繋がる場・機会の増加数 **43**カ所
2025年度までの目標 **100**カ所

2022年度 | 取り組み

- ・多文化共生社会に向けたネットワーク構築
- ・SDGs 推進のための講演
- ・ミャンマーローカル団体支援
- ・地球市民ダイアログ

2023年度 | 取り組み

- ・40周年カンファレンス

3 理念・目標を共有し、スタッフや理事がやりがいをもって「地球市民」として活動できる組織へ



2022年度 制度設計や現場の声で始めた事業数 **5**件
2025年度までの目標 組織全体の強化

2022年度 | 取り組み

- ・理事会に部会制導入
- ・地球市民の会働き方改革
- ・スタッフからの事業提案のしくみ化「地球市民チャレンジサポートプロジェクト」

2023年度 | 取り組み

- ・働き方改革
- ・待遇面の改善

地球市民チャレサポプロジェクト あなたのアイデアを地球市民の会と一緒に実現!

わたしたちは地球市民を増やし、活躍の場を作りながらスピード感をもってより多くの事業を生み出す「TPA ホールディングス」を目指しています。そこで「地球市民チャレサポプロジェクト」を策定しました。地球市民が増えることなら、なんでも挑戦OK! 当会からはブランド力、人脈、ノウハウなどを提供し、あなたの挑戦を徹底的に応援します。





私たちについて

団体概要

名称 特定非営利活動法人地球市民の会
設立 1983年7月
(2002年に法人取得、2010年に認定NPO法人となる)

活動対象国

日本国内、ミャンマー、タイ、スリランカ、中国、韓国

体制

本部事務局(佐賀)|職員7名(ミャンマー駐在1名)
ミャンマー事務所|ローカルスタッフ18名
会員数300名(正会員、賛助寄付会員、里親会員)

全国のネットワーク

北海道地球市民の会、地球市民の会東京
地球市民ACTかながわ、地球市民の会きふ
地球市民みえの会、神ノ戸有頂天倶楽部、愛媛地球市民の会
北九州地球市民の会、地球市民の会福岡
(一社)アイ・オー・イー、(一社)和スポーツさが
(一社)ユニバーサル人材開発研究所、(同)葉隠

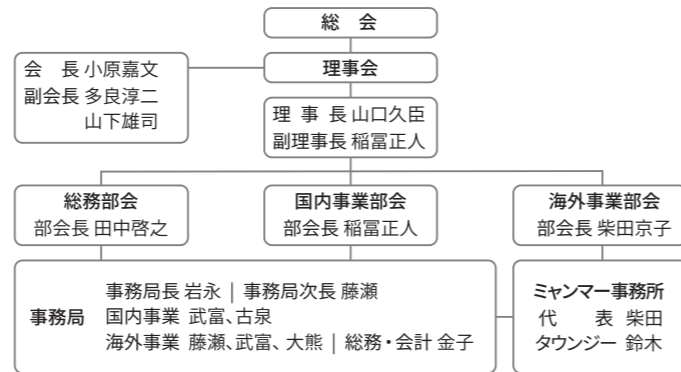
主な表彰

- 1988年 サントリー地域文化賞
- 1989年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996年 自治大臣表彰
- 1996年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしきんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006年 文部科学大臣奨励賞
- 2017年 かめのり賞
- 2017年 社会貢献支援財団賞

地球市民の会38年の歴史

- 1973年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第1回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990年 地球市民奨学金開始
- 1992年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002年 NPO法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009年 人間の持つべき文明2009「テラアピール2009」提唱
- 2009年 佐賀市中山間地域づくり事業開始
- 2010年 国税庁より認定NPOとして認定
- 2011年 ASC2008認証
- 2011年 東日本大震災復興支援事業開始
- 2013年 創立30周年記念・北澤氏講演会
- 2015年 ASC2012認証
- 2016年 平成28年熊本地震支援事業開始
- 2017年 非営利組織評価認証
- 2017年 タイ地球市民奨学金終了
- 2018年 地球を翔けた異風者 古賀武夫伝 出版
- 2019年 グッドガバナンス認証
- 2019年 佐賀豪雨災害支援開始(佐賀災害支援プラットフォーム結成)
- 2021年 地球市民共生事業開始

組織図



役員

- 永久名誉会長 古賀 武夫
名誉会長 山口 祥義 佐賀県知事
名誉副会長 坂井 英隆 佐賀市市長
- 顧問 井戸 敏三
顧問 内田 修平 国際課課長
顧問 今村 雅弘 衆議院議員
顧問 大串 博志 衆議院議員
顧問 小原 健史 ㈱和多屋別荘会長
顧問 小山 高生 脚本家
顧問 坂井 学 衆議院議員
顧問 薩摩 和男 ㈱美々卯社長
顧問 三遊亭 園歌 落語家
顧問 上甲 晃 志ネットワーク代表
顧問 草場 一壽 今心工房 陶彩画家
顧問 中尾 清一郎 ㈱佐賀新聞社 代表取締役社長
顧問 原口 一博 衆議院議員
顧問 福岡 資麿 参議院議員
顧問 マリクリスティーン 有限会社エムキューブインターナショナル
顧問 牟田 清敬 牟田法律事務所弁護士
顧問 山下 雄平 参議院議員
顧問 児玉 浩明 佐賀大学学長

- 特別会員 青柳 達也 佐賀女子短期大学
特別会員 有岡 大介 株式会社 ライフプロ 顧問
特別会員 鶴丹谷 清和 TUマネジメント株式会社 代表取締役
特別会員 古賀 大之 一般社団法人和スポーツクラブさが 理事長
特別会員 小松 敏正 小松商店 金属部代表
特別会員 佐藤 昭二 一般社団法人ふる里再生協会 専務理事
特別会員 副島 正幸 潮音寺住職
特別会員 田島 広一 田島株式会社 代表取締役
特別会員 平野 喜幸 NPO法人れんげ国際ボランティア会ミャンマープロジェクトディレクター
特別会員 藤 雅仁
特別会員 前田 英彦
特別会員 満岡 聡 満岡内科消化器科医院 院長
特別会員 峰 悦男 峰公認会計士事務所 代表
特別会員 宮地 大治 ㈱佐賀電算センター 代表取締役社長

- 会長 小原 嘉文 嬉野温泉観光 ㈱代表取締役社長
副会長 多良 淳二 佐賀県地域づくりネットワーク協議会 地域づくりアドバイザー
副会長 山下 雄司 株式会社サガプリンティング 専務取締役
理事長 山口 久臣 一般社団法人アイ・オー・イー 代表理事
副理事長 稲富 正人 佐賀西部広域水道企業団 企業長
理事 泉 万里江 小城市議会議員
理事 柴田 京子 特定非営利活動法人地球市民の会 ミャンマー代表
理事 多良 淳二 佐賀県地域づくりネットワーク協議会 地域づくりアドバイザー
理事 田中 啓之 佐賀県総務部税政課 主任主査
理事 鶴田 さゆり 佐賀県地域交流部空港課主査
理事 深川 千幹 佐賀市教育委員会学校教育課学校問題サポート相談員
理事 成尾 雅貴 株式会社あえる
理事 西村 一守 Produce Office Nishimura PON 代表
理事 西村 尚子 ステンドグラス工房 グラスパレット 主宰
理事 古川 久美子 一般財団法人文化・芸術の泉アール・フォンテヌ主宰
理事 藤戸 小百合 佐賀県農林水産部農業経営課 農福連携コーディネーター
理事 増田 誠司 株式会社増屋 代表取締役
理事 松尾 大輔 株式会社松尾クリエイション 代表取締役専務
理事 百生 詩緒子 アイ・シー・ネット株式会社 シニアコンサルタント
理事 片岡 浩二 有限会社片岡電工代表取締役社長
理事 岩永 清邦 認定NPO法人地球市民の会 事務局長
理事 山下 雄司 株式会社サガプリンティング 専務取締役
監事 堤 素行 堤素行税理士事務所
監事 土井 敏弘 みどりや茶舗 代表

ご挨拶



会長 小原 嘉文

地球市民の会は40周年を迎えました。ご支援いただいた皆様に心より御礼を申し上げます。まちづくり、人づくりに、国際交流という調味料を混ぜてみると大きな化学変化が起こり、想像もしなかった成果が生まれ、新しい世界が創造できる。これが創設者古賀武夫さんの発想の原点だったと思います。長年に渡る皆様のご支援のおかげで、国内外で高く評価いただき、会が関係している事業なら安心して協力し、成果が期待できると思っていただくまでになりました。新たな10年、その先の100周年に向けて、皆さんと一緒に新しい歩みを進めていきましょう。

地球市民の会より皆さまへ | ご支援のお願い

地球市民の会は皆様のご寄付によって支えられ、活動ができております。会員、寄付、ふるさと納税、ボランティアなど、様々な方法で皆様のご協力を募っております。地球市民の会へのご寄付は寄付金控除の対象です。

action A 寄付で支援する

1 地球市民の会の活動を支える >>> 地球市民サポーター 月 1,000円～

「世界中の人がお互いに支え合い、人の幸せを願える社会を作る」
地球市民の会の国内外の活動を支援します。

2 こどもたちに学ぶ機会を提供する >>> 奨学金サポーター 月 1,000円～

ミャンマー、スリランカの2か国で、経済的に困難を抱える高校生をはじめとしたこども達の教育支援を行っています。

毎月2,000円の寄付で
ミャンマーのこどもが
学校に通えるように

3 今、苦しんでいる人に寄り添う

>>> 地球市民ファンド

災害、紛争、クーデター等で、被害に遭われた方々への緊急支援を行うための基金です。

>>> ミャンマー復興支援基金 月 1,000円～ | 都度

ミャンマーの政変後、人々の命や生活が脅かされている危機的状況の中で、地域住民に寄り添った迅速な支援を行っています。

5,000円の寄付で
5人家族1ヶ月分の食費に

4 佐賀県 ふるさと納税

地球市民の会を選んで、ふるさと納税をするだけ!佐賀県内在住の方もご寄附は可能ですが、総務省からの通知により返礼品などをお送りできませんので予めご了承ください。詳しくは検索! [ふるさと納税 地球市民の会](#) [検索](#)

action B 物品の寄付で支援する

1 古着(ブランド品)

ブランド品(洋服やバッグなど)は買取サービス「Brand Pledge」を通じてご寄付いただけます。

[Brand Pledge 地球市民の会](#) [検索](#)

2 貴金属・カメラなど

お宝エイドで自宅に眠るお宝品を査定し、査定額に10%を上乗せした額が奨学金支援に繋がります。

[お宝エイド 地球市民の会](#) [検索](#)

3 古切手・書き損じはがき

未使用の切手、消印のある使用済み切手、余った年賀状や印刷間違えて出せない官製ハガキを事務局までお送りください。

action C ボランティア・インターンとして参加する

随時募集しています。興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

ご支援は
コチラから





認定NPO法人地球市民の会

〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL 0952-24-3334 FAX 0952-26-4922
業務時間 土・日・祝を除く 9:00-17:30



MAIL office@terrapeople.or.jp
HP <http://www.terrapeople.or.jp>

